

新型コロナ禍による観光行動および観光業への影響評価に関する特集と助成研究募集のお知らせ

このたび、日本観光学会理事会および同編集委員会の共同企画事業として、世界的な新型コロナ禍が人々の観光行動や観光業に及ぼす影響に関する会員諸氏の調査研究の成果を学会として記録しておく必要があるとの主旨から、以下のとおり第 61 号（2020 年 12 月刊行予定）で新型コロナ禍の影響に関する特集および、新型コロナ禍の影響に関する奨励研究を募集いたします。

- ① 日本観光学会誌第 61 号での新型コロナ禍の特集に関しては、時間的な制約がありますため、速報的性格が強い内容で、研究ノート、調査・資料、実践記録の区分のいずれかいたします。執筆要領は、本学会誌の執筆要領に従ってください

募集期間：8 月 31 日までに原稿ファイルを、メールにて本部事務局（nihon@kankoga.or.jp）まで提出ください（通常投稿は例年どおり 7 月 31 日まで）。本特集への投稿原稿は、編集委員会で審査の上採否を判断いたします。

- ② 新型コロナ禍に関する助成研究については、助成額は 1 件 10 万円、件数は数件を予定していますが、実際の応募内容を審査の上、決定いたします。

募集期間：7 月 31 日まで、応募用紙に記入の上、メールにて本部事務局（nihon@kankoga.or.jp）まで提出ください。

本助成研究の成果は、本学会での報告および、2021 年度刊行の第 62 号への投稿を行っていただきます。新型コロナ禍助成研究の特集として、編集委員会で審査の上採否を判断いたします。

応募研究テーマは、①の第 61 号での特集の掲載成果と重複してもかまいませんが、助成研究の成果は、内容的に 50%以上はそれを発展させた内容としてください。同一内容の場合は、掲載対象となりません。